

# 中施策評価書

作成日 令和05年 6月 8日

中施策事業名	消費者相談事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる
③中施策	サービスや支援を充実し、負担を軽減する
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	消費生活相談窓口の解説や対処方法が周知されていて、消費者の安全が確保されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費者団体</li> <li>・ 消費者相談</li> <li>・ 消費者問題</li> <li>・ 消費生活講座</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
消費生活相談件数 (単年度)		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	175	200	205	210	215
		実績値	213	214			
単位	件						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			2,587千円	3,011千円	
人件費	a 事業費合計		2,587千円	3,011千円	3,857千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			1,725千円	1,911千円	2,011千円
③ コスト(①-②)			862千円	1,100千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			13円	16円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 平成29年度から開設日を週4日として継続している。地域包括ケア連絡協議会との連携により一層の健全な消費生活の維持を図ることができた。 相談員間の連携として、4ヶ月に一度の打ち合わせ会を行い、相談内容の共有を図り、内容に応じて関連する関係機関の紹介先の共有も図れた。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	開設日を週4日として継続していく。見守りネットワークとして、地域包括ケア連絡協議会と連携して、関連団体向けの出前講座の実施に向けて調整を図っていく。また、若者向けに啓発活動として、高校への出前講座などを行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	高齢者・若者の消費生活を守るため、センター運営を維持しながら出前講座の充実を図っていく。トラブルの未然防止として、高齢者等に対しては、地域包括支援センター連絡協議会との連携し、若者向けには、中学校にも対象を広げて、出前授業など実施し、健全な消費生活の維持を図っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 7月 4日

中施策事業名	ふるさと豊明応援寄附推進事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税収を増やす等、収入を確保する
④中施策事業の対象	全国納税者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	ふるさと納税を行うことにより、豊明市の行政に貢献できていると感じ、またお礼の品を賞味や体験することにより、豊明市の魅力を感じている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税の発送・受付</li> <li>・ふるさと納税の拡大・啓発事業</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
ふるさと豊明応援寄附額（単年度）	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	42,000,000	30,000,000	30,000,000	35,000,000	43,000,000
	実績値	19,668,000	21,133,000			
単位	円					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		8,889千円	10,428千円		
人件費	a 事業費合計	8,889千円	10,428千円	11,090千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		8,889千円	10,428千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		129円	152円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	あまり貢献できなかった	×	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標自体を見直す必要がある	×	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	C 市内のお店に返礼品の提供を依頼して、返礼品の魅力拡大として、新たに役務の提供を中心に返礼品数を増やしたことで、寄付額の増加につながった。南部公民館図書館リニューアルに伴う図書購入や、三崎水辺公園整備に伴う改修費についてクラウドファンディングを実施した。市民の寄附もあり、効果はあった。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	クラウドファンディングによる使い道に共感が得られる事業を掲げて寄附を募った。また、市内のお店に直接訪問を行い、返礼品への申込について定期便や商品開発を促し説明等を行い、協調して取り組む地域振興活動としての目標感を共有しながら返礼品数の増加につなげることができた。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	①クラウドファンディングの実施の時のPRを強化して、広く知ってもらえるような工夫をする。 ②継続して、ポータルサイトを追加して、PRと併せて、寄附の窓口を増やしていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 6月 8日

中施策事業名	観光活性化事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	31 豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでいただけるまち」になっている
②大施策	とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす
③中施策	「行きたい」場所をつくる
④中施策事業の対象	市民及び市外在住者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	史跡観光やイベントへの来場者が増加し、市全体が賑やかに感じられる 市内観光史跡に興味をもち、知識を深めることにより郷土愛が醸成している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光行政</li> <li>・観光施設整備</li> <li>・地方創生事業（観光まちづくり）</li> <li>・地方創生事業（ブランディング）</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
ボランティアガイドによる来客ガイド数（単年度）	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
	実績値	2,013	4,024			
単位	人					
地域学校向ボランティアガイド回数（単年度）	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	3	3	3	3	3
	実績値	0	0			
単位	回					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		3,831千円	6,969千円		
a	事業費合計	3,831千円	6,969千円	10,737千円	
	人件費	正規職員	人数 0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		3,831千円	6,969千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		56円	101円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、古戦場まつりの中止などにより、来場者数の復活はできなかった。年度末から始まったNHKの大河ドラマの影響より、少しずつ、徐々に増えてきている状況であった。</p> <p>桶狭間古戦場伝説地などをガイドするガイドボランティアの養成講習会を開催した結果、ガイドの担い手が増えたので、継続してガイドできる体制が整った。</p> <p>大河ドラマを活かして、三大合戦ゆかりの地との相互出展連携を締結した。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>桶狭間古戦場まつりが4年ぶりに開催されるため、来場者の増加につながるよう、PRを強化していく。</p> <p>また、相互出展連携より、大河ドラマゆかりの地として、出展PRしていく。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>①市外県外からの来場者の増加を図るため、SNSのフォロワーの増加を図る。</p> <p>②大河ドラマが終わった後の反動で来場者の減少が見込まれるため、食い止めるための魅力あるコンテンツの開発を様々な主体と連携しながら行う。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 6月 8日

中施策事業名	商工業振興補助事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	商工会、商工事業者、創業予定者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市の安定した雇用対策や商工会の運営、新規創業する事業者の増加で商工業が発展している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会等への指導及び育成</li> <li>・新型コロナウイルス感染対策に関する補助金等</li> <li>・商工会等への補助金</li> <li>・空き店舗活用事業補助金</li> <li>・社宅整備費補助金</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
豊明市商工会会員 数のうち「建設・ 製造・卸売小売・ 飲食業」の計	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	790	800	800	800	800
	実績値	689	697			
単位	名					
空き店舗及び社宅 整備、水まわり補 助（令和元年度終 了）の累計件数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	10	10	14	16	18
	実績値	12	13			
単位	件					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		21,732千円	21,770千円		
a	事業費合計	21,732千円	21,770千円	21,770千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		21,732千円	21,770千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		316円	316円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B：商工業の振興を側面から支援するため、主に商工会への補助を行ってきた。空き店舗補助金は使いやすい制度にできるよう検討を続けているが、新規出店に関する問い合わせがほとんどないため、制度そのものの見直しが必要と思われる。</p> <p>補助期間を終了した水まわり補助金は目標を達成したが、コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績の低迷や事業縮小に伴い雇用者数を絞る動きも見られたため、社宅整備補助事業は数件問い合わせがあったものの1件にとどまった。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	補助事業のため、補助対象者である商工会とともに市内事業者の情報共有とPRを引き続き行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	企業支援の施策は主に商工会を通じてPRするため、商工会への入会メリット等の紹介も併せて、補助制度の活用や商工会への入会を促していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等



# 中施策評価書

作成日 令和05年 10月 26日

中施策事業名	商工業の育成振興事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	市民、市外在住者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	商工業者に活気があり、経済活動が活発化して、市内での消費が拡大している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商工業振興資金・信用保証料助成</li> <li>・ 商店街振興</li> <li>・ 地方創生事業（花マルシェ）</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
地域ブランド関連 商品数（延べ）	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	15	15	15	15	15
	実績値	14	15			
単位	個					
地域ブランド関連 イベント開催回数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	10	12	12	13	14
	実績値	14	20			
単位	回					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		80,451千円	143,685千円		
a	事業費合計	80,451千円	143,685千円	81,049千円	
	人件費	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	1,400千円	0千円	
③ コスト(①-②)		80,451千円	142,285千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,169円	2,068円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A：新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続いており、融資を受けた商工業者が多いため、国や県の支援制度の紹介と併せて信用保証料の助成による支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰の影響を受けた事業者及び市民を支援するため、地元応援割引券を発行し消費を促した。</p> <p>「とよあけ花マルシェ」は、新商品の開発が進まない中ではあるが、イベント等に積極的に出展し、PRすることができた。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	「とよあけ花マルシェプロジェクト」は、花のある暮らしの提案や花マルシェ商品の開発による地域経済活性化、市民中心の組織づくりと育成を行うことにより、市民全体とした地域創生事業の展開を目指す。新たに、花の文化日本一の街として市民向けに新たな事業の企画の立案を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	地元応援割引券は、事業者、市民ともに好評であるため、適宜行うことが望ましい。「とよあけ花マルシェプロジェクト」が市民主体となるように、事業主体者と協議しながら進めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 6月 9日

中施策事業名	企業留置事業（補助金交付事務）	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	市内の企業
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市との信頼関係が構築され、企業が引き続き豊明市を拠点として活動している。
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・企業再投資促進補助金

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
補助事業認定申請 累計件数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
単位	件	目標値	6	6	7	7	8
		実績値	4	6			
単位	件	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額
		令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)		0千円	0千円	
a	事業費合計	0千円	0千円	43,189千円
	正規職員	人数	0人	0人
		b 金額	0千円	0千円
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人
		金額	0千円	0千円
人件費合計		0千円	0千円	
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	16,594千円
③ コスト(①-②)		0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		0円	0円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：令和4年度は、2社の事業認定を行った。操業後に再投資補助金を交付する予定である。 また、新たな問い合わせもあり、事業認定に向けて支援を行った。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	事業認定を行った企業に対して、操業の確認や補助金の交付申請手続きについて支援を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	再投資補助金を交付した企業へのフォローアップにより、効果検証を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 6月 9日

中施策事業名	企業留置事業（企業訪問事務）	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	市内の企業
⑤中施策事業の意図 <small>(対象をどのようにしたいですか)</small>	市との信頼関係が構築され、企業が引き続き豊明市を拠点として活動している。
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・指定集積業種判定

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
企業訪問累計件数		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	130	130	130	130	130
		実績値	90	98			
単位	件						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額		予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			157千円	169千円	
人件費	a 事業費合計		157千円	169千円	197千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 <small>(事業費に含む)</small>	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			157千円	169千円	
市民一人あたりコスト <small>(③/市の人口(評価対象年度末時点))</small>			2円	2円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B：商工会を通じて市内事業者に市の事業者支援パンフレットを配布し、補助金等の支援策を活用いただくようPRした。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市内移転や事業拡大を計画している企業を中心に訪問し、支援策の紹介を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き企業訪問を行い、市内での再投資を支援する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 6月 9日

中施策事業名	企業誘致事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	製造業及び新規有望分野の企業
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	産業団地への企業誘致
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業立地（企業誘致）</li> <li>・ 企業立地促進条例</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
企業の立地面積（ 意向確認分）		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	12	12	12	12	12
		実績値	29	29			
単位	ha						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			56千円	110千円	
人件費	a 事業費合計		56千円	110千円	138千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			56千円	110千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			1円	2円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：柿ノ木工業団地の分譲申込みがあった企業について、地域社会との信頼関係が構築可能な事業者の選定につながるよう評価を行ったうえで、企業庁に意見を提出し、企業庁審査会において内定された企業を中心に訪問した。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	12区画中8区画が内定したが、4区画が空いているため、地域と共存できる優良企業を誘致できるよう、県企業庁と歩調を合わせて進行管理を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	企業からのニーズを把握し、積極的に誘致を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等



# 中施策評価書

作成日 令和05年 6月 9日

中施策事業名	雇用就労対策事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	39 若い人たちが地元で働ける
②大施策	若い人たちの地元での就労を促進する
③中施策	若い人たちが働きやすい労働環境づくりを支援する
④中施策事業の対象	市内事業者、求職者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内企業の魅力が発信され、市内企業への就職が促進されている。
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労務相談</li> <li>・ 雇用対策</li> <li>・ 移住支援事業</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
就職活動支援イベント等の情報発信数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	12	12	12	12	12
	実績値	11	12			
単位	回					
企業合同説明会参加企業所数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	23	24	24	24	24
	実績値	19	22			
単位	社					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			1,704千円	33千円	
人件費	a 事業費合計		1,704千円	33千円	3,038千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			825千円	0千円	2,250千円
③ コスト(①-②)			879千円	33千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			13円	0円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B：雇用就労対策として、近隣自治体との就職ガイダンスに加え、愛知労働局所管ハローワーク名古屋南との共催による市内事業者を対象とする就職フェアを開催することで、就労希望者と雇用者が接する機会を提供することができた。</p> <p>就労に繋がらない若年者を対象に、なごや若者サポートステーションの協力を得て若年者就労相談を行い、5件の相談があった。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>市広報やWEBサイト等でPRを行い周知を図る。近隣自治体や労働局との共催による就職フェアを継続し、人材確保の機会を設ける。</p> <p>引き続きなごや若者サポートステーションの協力を得て、若年者の就労相談を行う。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>人材確保に課題があるため、有効な採用活動ができない事業者が増加傾向にあるため、採用に対する支援策を検討する必要がある。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 4月 21日

中施策事業名	創業支援事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	39 若い人たちが地元で働ける
②大施策	若い人たちの地元での就労を促進する
③中施策	若い人たちの働く意欲・能力を高める
④中施策事業の対象	市内在住、在勤、在学者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内在住、在勤、在学者が、豊明市内で起業している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方創生事業（しごと創出）</li> <li>・ 起業・創業支援</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
創業実践セミナー の受講者数（延べ）	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	18	18	18	18	18
	実績値	7	21			
単位	人					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			0千円	0千円	
人件費	a 事業費合計		0千円	0千円	0千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	0円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B：創業支援セミナーへの参加者が増えことは一定の成果であるが、先行き不透明な社会情勢において新たに起業することは容易でないと思われる。これにより、まちづくり指標にある新規起業数低迷しているが、起業に関心を持つ層がある程度見受けられるため、起業に繋がるよう、商工会や近隣自治体と連携してPRを続けていく。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	商工会でチラシを配布するとともに、市広報やWEBサイトでPRを継続して行う。図書館での創業や起業に関する本を紹介するための「起業コーナー」を一定期間設ける。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	連携する自治体や商工会において、セミナーへの参加者をさらに増やせるよう、PRしていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等